



「命」を大切にするまち  
人と猫が共生でき、  
幸せに暮らせるように。

## 地域で起こる 猫トラブルを減らす

### はじめに

近年、ペットとして飼われている猫の位置づけが変わり、家族の一員として扱われるようになってきています。その一方で、不適切な飼い方から、飼い主と近隣住民との間でトラブルが発生し、対立を引き起こすことがあります。このような状況を防ぐため、町では猫の適正飼養ガイドラインを作りました。

ガイドラインには、猫を飼う場合のルールや、地域住民が共通の理解を持つて猫と接していく方法などが書かれています。

### 猫を飼うときのルール

猫を飼うことは、猫の一生の面倒をみるということです。生態や習性、行動を知り、命の大切さを理解した上で、最後まで責任と愛情を持って飼いましょう。

まずは飼う前に、屋内で飼えるか、エサ代や治療費をまかなえるか、近隣の迷惑にならないように飼えるかなどを考えましょう。

### 屋内で飼うのが基本

ふん尿で近隣の迷惑にならないよう、基本的に屋内で飼いましょう。

### 繁殖を制限する

頭数が増え、適正な飼育ができない場合は、繁殖を防ぐための不妊・去勢手術を行いましょう。

### 飼い主の明示

飼い主が分かるよう、首輪に名札を付けましょう。マイクロチップを使う方法もありますが、外観で分かるものを併用すると良いでしょう。

令和4年6月から、販売される犬や猫へのマイクロチップの装着・登録が義務付けられています。既に飼われている猫にも装着・登録の努力義務があります。装着・登録については、動物病院にお問い合わせください。



環境省  
犬と猫のマイクロチップ  
情報登録に関するQ&A

### 不妊・去勢手術

猫は繁殖力が強く、繁殖サイクルが非常に速いです。世話をできる頭数を決め、猫が増えないよう不妊・去勢手術をしましょう。手術については動物病院に相談ください。

### 獣医師による耳V字カット

不妊・去勢手術をした猫を識別するため、耳の先端をV字カットしましょう。管理されている猫であると認識されやすくなります。



### 新しい飼い主を探す

屋外で生活する猫は、病気や事故などで比較的短命で、平均寿命は5年以下とも言われています。基本的には屋内で飼育できる飼い主を探しましょう。

### 野良猫に無責任に

#### エサを与えてはいけない

野良猫の多くは、捨てられた猫や、屋外で飼育されている不妊・去勢手術を受けていない猫から生まれた猫です。単に「かわいい、かわいそう」といった理由でエサを与える行為は、ふん尿の問題や繁殖による野良猫の増加など、多くのトラブルを引き起こし、猫にとっても幸せなことではありません。

野良猫にエサを与えている時点で飼い猫とみなされます。責任を持って飼う意思がない場合は、野良猫にみだりにエサを与えてはいけません。

### 野良猫のトラブルを減らすための活動

野良猫も保護すべき愛護動物であり、トラブルがあったからといってむやみに捕獲したりできません。

そこで、公民会などが動物愛護団体等と連携し、地域住民の理解と協力を得て、野良猫の不妊・去勢手術を行い、地域で世話をする活動が全国的に広がっています。この活動は「地域猫活動」といい、活動内容やルールは各地域の特性により様々です。不妊・去勢手術を徹底することで、野良猫を増やさず、一代限りの生を全うさせることを目的としています。

### 地域猫活動で必要なこと

#### 地域住民への説明

猫が好きな人、嫌いな人がいるので、事前に地域住

### 無料不妊手術チケット

町では、動物愛護団体やボランティアと協力し、公益財団法人どうぶつ基金の無料不妊手術チケットを利用した活動に取り組んでいます。確保できる無料不妊手術チケットの数には制限があるので、多頭飼育によって管理ができないなどの事情がある場合が対象です。不妊・去勢手術はチケットを利用して無料で行われます。手術後、猫が生活していた場所へ戻されるので、飼い主が責任を持って飼育することになります。



適正飼養のお願い  
ガイドラインが  
掲載されています

### お問い合わせ先

町民環境課 環境係  
内線（2127）

